

大分県立三重総合高等学校久住校

～久住校を起点として、県内にGAPの取組が波及！～

<基本情報>

所在地:大分県竹田市

全校生徒:66名(H30.12月現在)

うち野菜専攻GAP担当:6名

<経営概要>

経営面積:22.4a

認証品目:カリフラワー、きゃべつ、きゅうり、ごぼう、さといも、スイートコーン、セルリー他全24品目



ASIAGAP認証取得

<人材育成>

GAPの目指す、「食の安全の確保」「環境保全型農業の実践」「農業生産者の労働安全の確保」「販売管理体制の実現」は、現代の農業において不可欠との考えからGAPの取組を推進

① GAPを教育カリキュラムに組み入れ、全生徒がGAPを学習できる体制を構築し、GAP認証審査では、生徒(3年生)が中心となって対応

② HPやSNSにおいて、県内外にGAPの取組を発信

③ 平成27年からは、宮崎大学や県内GAP認証農業者を講師に迎え講義・講習会を実施するとともに、GAP認証審査を公開



<GAPの取組状況>

「安全で安心な農産物生産」の実践を目指し、これからの農業人材の育成を目的に、GAPの取組を導入

平成22年 GAPの取組を開始

平成24年11月 JGAP認証を取得

平成29年 有機JAS登録認証を取得

平成30年12月 ASIAGAPの認証を取得

<GAPの普及に向けた取組・効果>

・GAPを学んだ、久住校の卒業生が中心となり、進学先の大分県立農業大学校において、JGAP認証を取得

(農業大学校でのJGAP認証は全国初)

・久住校における継続的なGAPの取組みの成果が評価され、2020年度末までに、大分県下の全ての農業系高校でJGAP認証取得予定